

委員会活動報告

市議会の各常任委員会は、大川市の抱えるさまざまな課題解決のため、意欲的な取り組みをされている他の自治体など、先進地の視察を行いました。また、花宗川強制排水ポンプ設置に関する調査特別委員会は、花宗川に強制排水ポンプを設置するための要望活動を行いましたので、ご報告いたします。

行政視察報告

総務委員会

視察日

平成25年10月15日～17日

視察先

岡山県備前市、笠岡市、
広島県府中町、竹原市、
山口県周南市

定住促進・安全安心について

◎岡山県備前市では、「定住促進の取り組み」について説明を受けました。企業誘致については、企業からの問合せ等は来ているが、平地が少なく、今のところ申し込みがあってもお断りしているとのことでした。

◎広島県府中町では、「安全・安心の町宣言」事業、「コミュニティバス運行事業」について説明を受けました。GIS（地理情報システム）の活用により、防犯灯の球切れ等の連絡があったときにはその場所がすぐに分かり、業者への連絡も効率的であるとのことでした。

道の駅について

◎笠岡市では、「道の駅整備による地域活性化」について説明を受け、道の駅「笠岡ベイファーム」を現地視察しました。干拓地である道の駅周辺は、多くの背高い雑草に囲まれ、広大な花畑は存在するものの、大木町の道の駅を倍にした程度ですが、軟弱な干拓地に建てられた道の駅は、台風後の平日に客で溢れていました。予想外の広大な土地と場所が「本当に4億円以上の売り上げがあるのか」との思いでありましたが、出荷品目についてはまだまだ不足しているとのことでした。

◎「道の駅たけはら」は、平成22年のオープン当初は市直営でしたが、現在はシダックスグループが指定管理者となっています。指定



府中町で説明を受ける
総務委員

管理料は年間1千500万円、利益の半分は市の収入になるとのことでした。出店者の手数料は、野菜15%、加工品20%です。頑丈な建物構造設備は地域の防災拠点機能を持ち、300人が3日間一時避難ができるように受水槽、浄化槽、自家発電施設、24時間対応公衆電話を整備し、避難所、避難施設として「竹原市地域防災計画」に位置づけ、道の駅を契機に地域活性化に大きな期待がかけられた施設でした。

入札監視委員会について

◎山口県周南市では、「入札監視委員会の設置」、「わかりやすい予算解説書作成事業」について説明を受けました。監視委員会は、定例会議を年2回非公開で開催し、不適切な事項または改善すべき事項があると認めたときは、市長に対して意見具申や勧告を行うことになっています。大川市における外部評価委員会に相当するものでした。予算解説書は、25年度の現在では約10ページ程度まで縮小され、施政方針と一緒に記載、配布がなされています。